

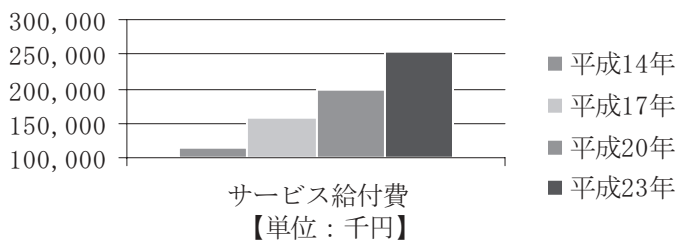
第5期（平成24～26年度） 介護保険事業計画について②

藤里町の第5期介護保険事業計画の内容について、3月号では主に保険料についてお知らせしましたが、今月号では各種介護サービスについて、これまでの傾向と今後の見込みについてお知らせします。

今回お知らせする数値は、第1～4期の介護保険事業計画の各最終年度の実績値ですが、平成23年度は実績見込み、平成26年度は計画値です。

【居宅サービス】

デイサービスや訪問介護などの居宅サービス費用は、10年間（平成14年と平成23年の比較）で約2.2倍となっています。



◎延べ利用者数＝各月ごとの利用者数の12ヶ月を積み上げ
◎サービス給付費＝費用額から利用者負担分（1割）を除いたもの

この内、デイサービスは、利用者の要望などに配慮し、日数や時間を見直してきた結果、年間の延べ利用者数は1,500～1,700人で推移しており、今後も同程度の利用を見込んでいます。

また、訪問介護（生活援助など）や福祉用具貸与（レンタル）は、在宅で介護を受けられる方の利用頻度が高く、10年間で訪問介護は2.5倍、福祉用具貸与は4.9倍に増えており、今後も増加すると予測されます。

ショートステイ利用者は、平成20年から横ばいで推移していますが、近隣市町で新規に事業所が増えていることや、要介護認定者の重度化に伴って、ショートステイ利用者の増加が見込まれることから、今後3年間で7%程度伸びると見込んでいます。

